

第5章 計画の推進

1 計画の推進体制

計画の推進は、市民が主役です。

市民一人ひとりが「食」に関心を持ち、積極的に「食育」を実践していくことが必要になっています。

このため、食育の推進にあたっては、家庭、保育所、幼稚園、学校、職場、関係団体、行政などが、それぞれの役割に応じて主体的に活動し、市民運動として取り組みを推進することが重要です。

2 家庭・学校・地域などの役割

【家庭の役割】

家庭は、食生活の基本の場であり、特に子どもたちが健全な食習慣を身につけ、心身ともに健やかに育っていく上で、大きな役割を担っています。

このため、家族団らんで食卓を囲むことを基本に、食事マナーを身につけるなど、日常生活の中で食育を実践していくことが大切です。

また、家族で「食」に関する体験活動などに参加して、「食」に対する関心や理解を深めることも必要です。

【学校などの役割】

保育所や幼稚園、学校などは、健全な食生活の実現と豊かな人間形成を図る上で重要な役割を果たしています。

このため、家庭や地域との連携を図りながら、関係者が様々な機会を活用して子どもが「食」の大切さや楽しみなどを実感できるよう、食育を計画的に推進することが大切です。

【地域の役割】

地域において食育を推進するためには、家庭や学校等における取り組みのほか、生産者や保健・医療関係者、食品関連業者、さらにはボランティアなどによる幅広い活動が求められます。

このため、生産者は、食料生産に関する消費者の理解を促進すること、食品の製造、流通、販売に係る事業者などは、消費者に対し「食」に関する情報の提供などを進めることが必要です。

また、食育に関し専門的な知識を有する管理栄養士や専門調理師などは、地域における食生活の改善を推進することが大切です。

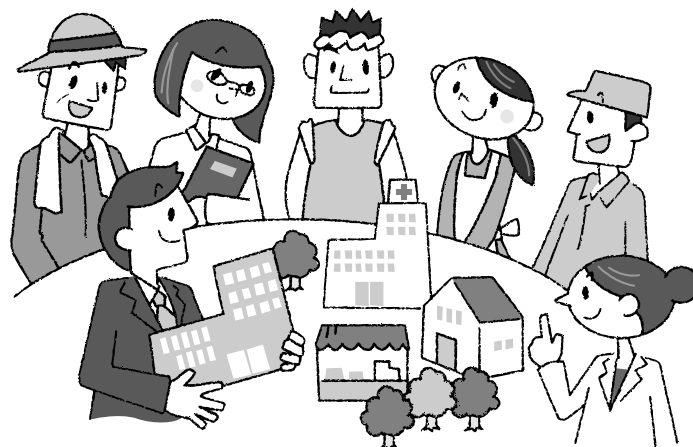
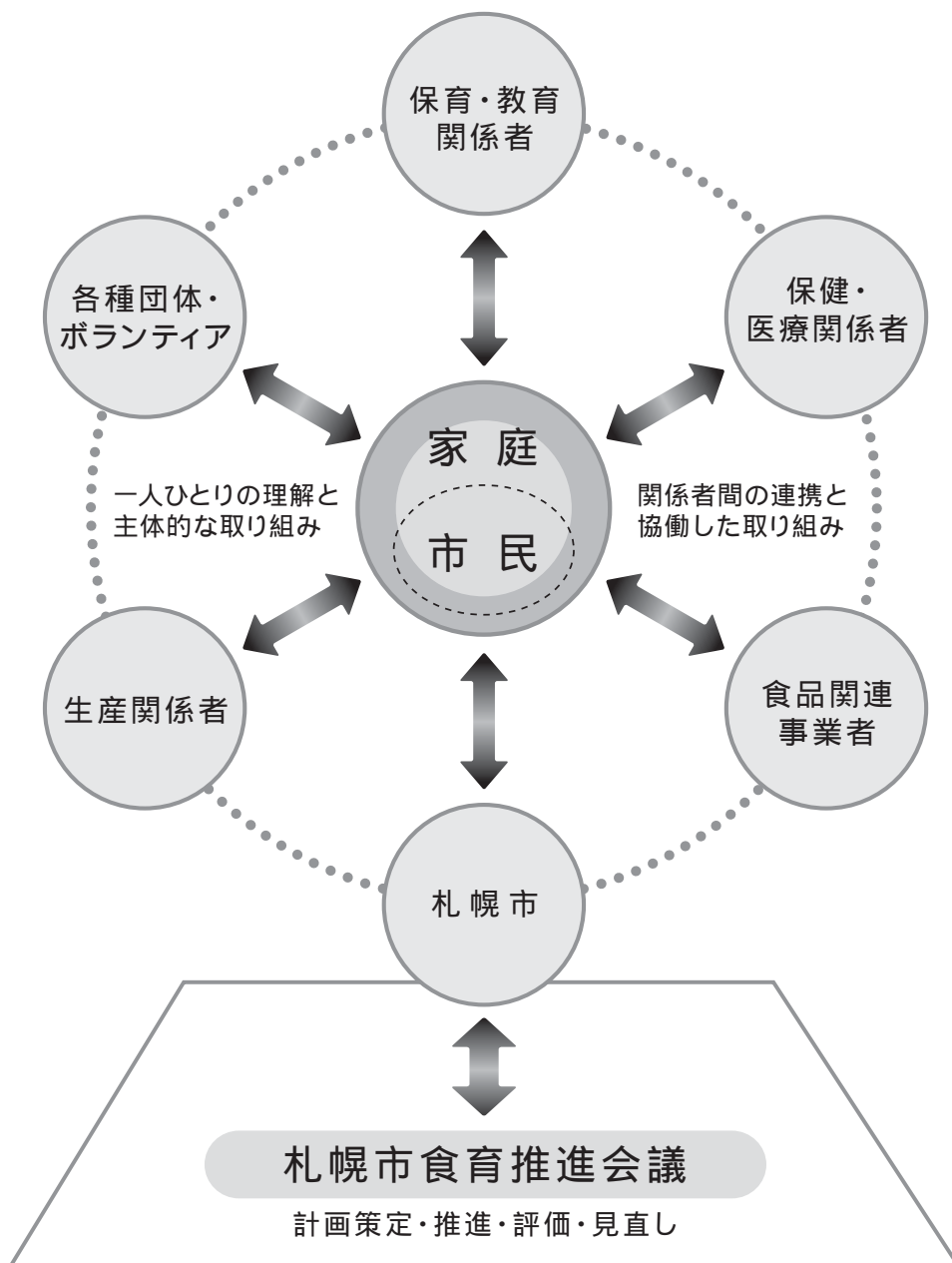
消費者団体や食生活改善団体、NPO法人などのボランティア団体は、食育の推進に自主的に取り組むとともに、行政が実施する食育に関する施策や活動に協力することが期待されます。

【行政の役割】

市民とともに食育推進運動に取り組むために、教育、健康、福祉、産業、環境などそれぞれの分野の取り組みを一体的に進めるとともに、食育の担い手が実践する取り組みを支援します。

また、食育を総合的な市民運動とするために食育関係者相互の情報共有と連携を図ります。

食育推進ネットワーク

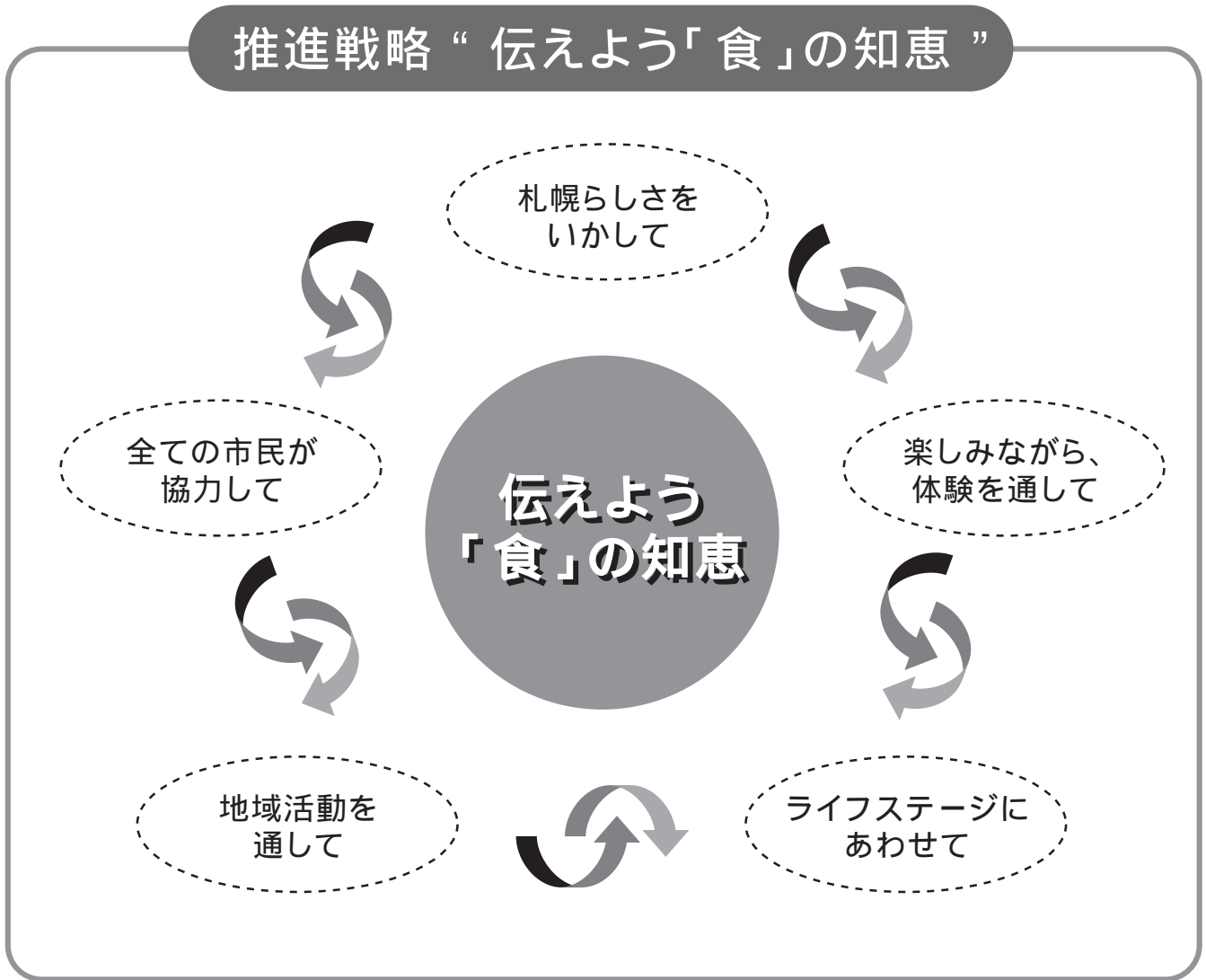


3 推進戦略

基本理念: 「食」を大切にする心を育みます

市民が主体的に進める食育

推進戦略 “ 伝えよう「食」の知恵 ”



計画を進めるために

楽しみながら、体験を通して
農作物を育てたり、調理をするなど、楽しみながら体験を通して

ライフステージに合わせて
若い年代や高齢者など、対象者に合わせた啓発活動

地域活動を通して
地域の若いお母さんも、職場を退職した人も、
食育の地域活動に参加して

全ての市民が協力して
生産者、食品関連事業者、各種団体・ボランティア、
保育・教育関係者、保健・医療関係者、
行政などが力を合わせて

札幌らしさをいかして
新鮮でおいしい食材が身近にある札幌の街の特長をいかして



4 ライフステージと食育の推進

食育の推進にあたっては、市民一人ひとりのライフステージに応じた取り組みを進めることが重要です。このため、乳幼児から高齢期までのライフステージに区分し、各世代ごとのめざす姿を示しました。

		乳幼児期 概ね0～5歳	少年期 概ね6～14歳	青年期 概ね15～24歳	壮年期 概ね25～39歳	中年期 概ね40～64歳	高齢期 概ね65歳以上				
基本目標 重点取組	人健 づ 康 く で り 活 か あ る	健康な生活を送るために生活習慣を整える 生活リズムをととのえる 朝ご飯を食べる 好き嫌いをなく食べる		健康な生活を送るために生活習慣を整える 生活リズムをととのえる 朝ご飯を食べる バランスのよい食事が大切なことを知る		健康な生活を送るために生活習慣を整える 自分に必要な食事の量やバランスを考えながら食べる 朝ご飯を食べる		健康な生活を送るために生活習慣を整える 自分の健康状態や生活環境にあった食事をする 活動量に合った食事の量を理解し、適正体重を維持する		健康な生活を送るために生活習慣を整える 自分の健康状態や生活環境にあった食事をする 活動量に合った食事の量を理解し、適正体重を維持する 自分の身体を知り、適切な食生活を実践する	
	楽しく食べる食事の提案	楽しく食事をする 家族と一緒に楽しく食事する 「食」に関するお手伝いをする		楽しく食事をする 家族や友達と一緒に楽しく食べる 食事作りの手伝いをする		楽しく食事をする 家族や友達と一緒に楽しく食べる 食事のマナーを身につける 自分で食事をつくる		楽しく食事をする 家族や友達と一緒に楽しく食べる 食事のマナーを次世代に伝える 家族で楽しく料理する		楽しく食事をする 家族や友達と一緒に楽しく食べる 食事のマナーを次世代に伝える 家族で楽しく料理する 食事作りを楽しむ	
	「食」への感謝の心の育成	「食」の大切さを知る(感じる) 「食」を通して生命の大切さを知る 「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をする				「食」の大切さを知る(感じる) 「食」を通して生命の大切さを知る 食べ物を大切に感謝の気持ちを持つ					
基本目標 重点取組	環市 境民 づが く暮 りら し や す い	「食」を通して環境を守る 食べ残しをしない		「食」を通して環境を守る 食べ残しをしない 「食」を通して環境を守る大切さを学ぶ		「食」を通して環境を守る 「食」を通して環境を守る大切さを知り、環境に配慮した食生活を実践する。					
	「食」の安全・安心に関する情報の提供	「食」の安全性について理解し実践する 手洗いをする 食べ物の衛生と身体への害との関係を知る		「食」の安全性について理解し実践する 食品の衛生に気をつける 食品表示を見て食品選択をする		「食」の安全性について理解し実践する 「食」の安全性について知る 食品表示を見て食品選択をする					
	農業を身近に感じる都市環境の実現	消費者と生産者との顔が見える関係づくり 自然にふれながら農業生産物を知る		消費者と生産者との顔が見える関係づくり 自然にふれながら農業生産物を知る 食料供給の仕組みを知る		消費者と生産者との顔が見える関係づくり 農産物の生産・加工に係る人との交流を大切にする					
基本目標 重点取組	食市 文民 化み んな でつ く る	優れた食文化を受け継ぎ豊かな食文化を育む 日本食に親しむ 郷土料理・行事食にふれる		優れた食文化を受け継ぎ豊かな食文化を育む 気候風土に適した北海道産食材を活用し、北海道型食生活を進める 地域の郷土食や行事食を日々の生活に活かす							
	「地産地消」の推進	「地産地消」を推進する 地域の産物に親しむ 旬の食べ物を味わう		「地産地消」を推進する 地域の特産物や旬の食材を日常の食事に取り入れ、美味しく味わう 旬の食べ物を味わう							
	地域における食育の推進	市民みんなで食育を推進する 地域の食育活動に参加する		市民みんなで食育を推進する 学校で食育について学ぶ 地域の食育活動に参加する		市民みんなで食育を推進する 地域の食育活動に参加する 自分のできる食育活動を企画し、地域に食育を広める					

5 計画の進行管理・公表

■ 計画の進行管理・公表

本計画の進行管理にあたっては、施策を効果的・効率的に推進し事業などの達成状況を客観的に把握・評価するとともに、札幌市食育推進会議において審議いたします。

また、本計画の進捗状況や施策の実施状況については、毎年公表します。

■ 計画の見直し

本計画の目標年次である平成24年度までに、社会情勢の変化や計画の進捗状況などにより本計画の見直しが必要な場合、札幌市食育推進会議の意見を踏まえ、必要な措置を講じます。